



人権平和資料館だより

2021年（令和3年）10月

**HUMAN RIGHTS & PEACE** 第270号

〒720-0061 福山市丸之内1-1-1

TEL 924-6789 FAX 924-6850

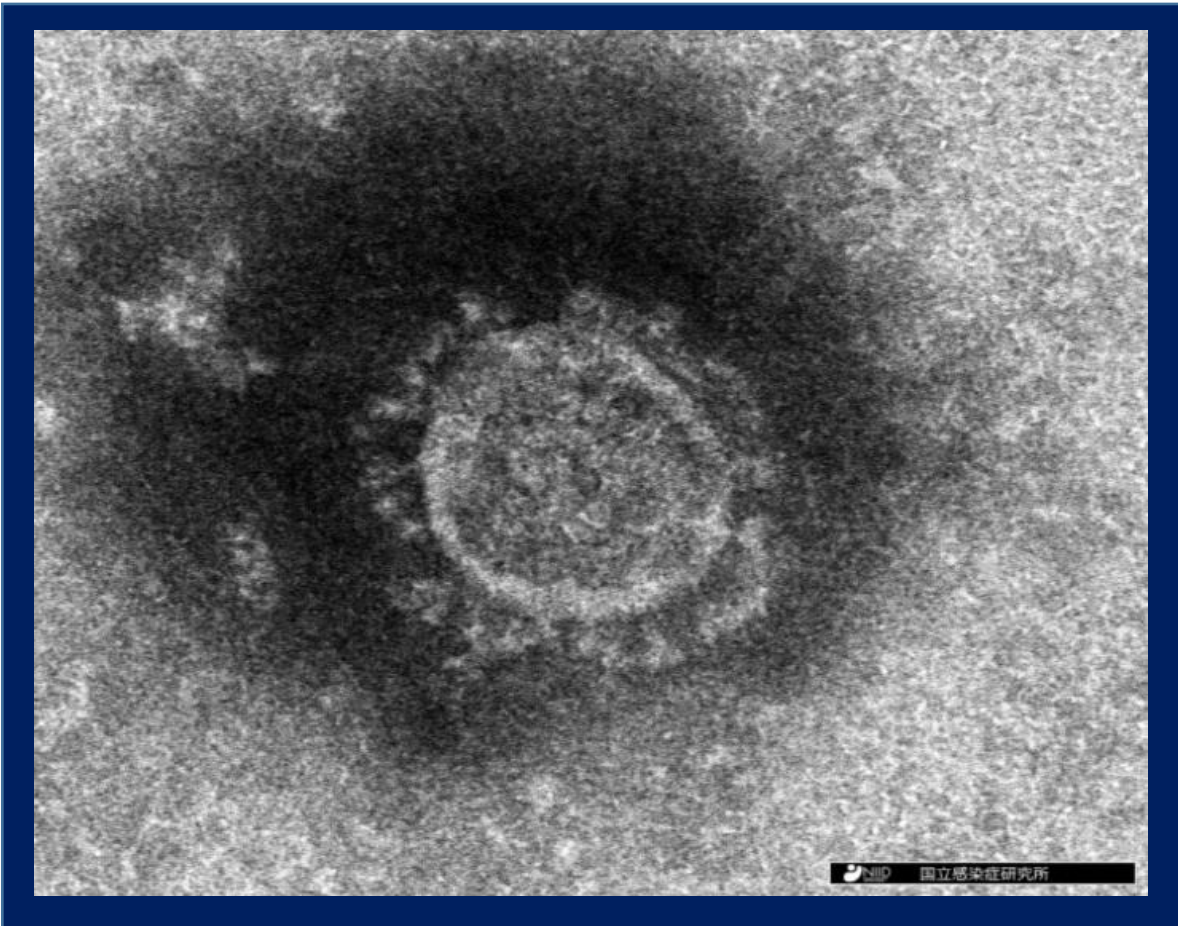
人権と平和は

21世紀のキーワード

[jinken-heiwa-shiryokan@city.fukuyama.hiroshima.jp](mailto:jinken-heiwa-shiryokan@city.fukuyama.hiroshima.jp)

# 新聞報道に見る 新型コロナウイルス感染症と人権

期間 10月1日(金)~11月25日(木)



「新型コロナウイルス」（電子顕微鏡写真）

提供：国立感染症研究所

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の拡大は、今なお世界的な流行が続いており、日常生活にも大きな影響を及ぼしています。このウイルスの感染が拡大していく一方で、全国的にコロナ禍における差別や誹謗・中傷が相次いでいます。

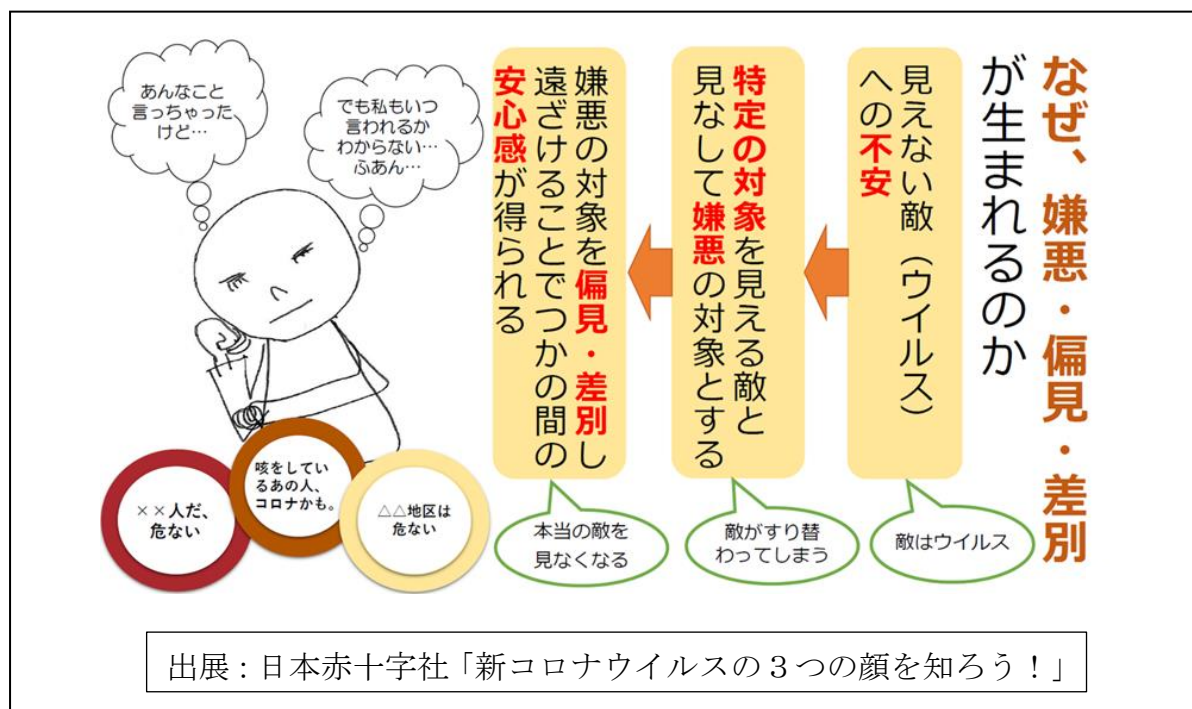
この企画展は、これまでどのような人権に関わる事象が起きているのか、また、言われなき差別や誹謗・中傷が生まれる背景には何があるのか。どうすればなくせるのかなど、新聞報道から振り返り考えます。

## 全国に見るコロナ禍における差別の状況を一部紹介すると

- 医療従事者が夜勤後のタクシー利用を拒否された。
- プライベートで子どもを連れて人の少ない公園に行ったところ、「〇〇病院にお勤めのかたですよ。こういう時期なので自粛してください」と言われた。
- 肺炎で死亡した人の遺族が「お前も感染者か」と聞かれ、職場で人に避けられた。
- 医療関係者の子どもということで保育園で通園を拒否された。
- 配達先でチャイムを鳴らすと、ドアが10センチほど開いた後、「あんたコロナ大丈夫？汚いからそこ置いといて」と言われた。

などといった、差別的な状況が後を絶ちません。

このような状況に対して日本赤十字社は、コロナ禍において差別をなくしていくため「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！～負のスパイラルを断ち切るために～」という啓発資料を作成しました。



上の図は、今回の展示パネルの一部を紹介したものです。このように、新型コロナウイルスは、私たちの生活に大きな影響を及ぼしています。

このウイルスとの闘いは、長期戦になるかもしれません。

それぞれの立場でできることを行い、みんなが一つになって負の連鎖を断ち切っていくいきましょう。

講演会「コロナ禍での差別と人権を考える」

講師 一般社団法人 山口県人権啓発センター  
事務局長 川口 泰司 さん

■日時 10月24日(日) 午後1時30分～

■場所 福山市人権平和資料館

入場無料